



音声コマンド機能がついたケンウッドの「DRV-MR760」。“録画開始”と発話するだけで緊急録画を開始し、“写真撮影”と話せば静止画撮影を行う。またフロント/リアの表示画面切り替えも“表示切替”の一言で行うこともできる。

Attention ! 今月の注目

KENWOOD

2カメラモデルの「DRV-MR760」 言葉に反応する ドライブレコーダー?

ドライバーの需要に応じてますます進化する
ドライブレコーダー。その最新型の實力は?

文＝永野正雄（本誌） 写真＝阿部昌也

問い合わせ＝JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

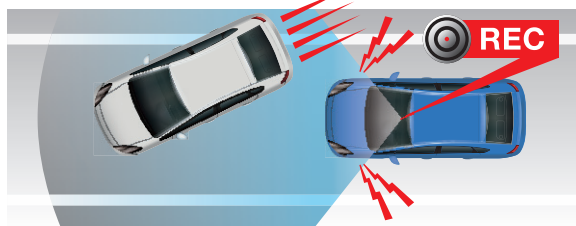
0120-2727-87

昨年6月に施行された改正道路交通法により新たな罰則が設けられた“あおり運転”。ドライバーの自己防衛意識が高まる中、不測の事態に備えて愛車にドライブレコーダーを取り付ける人々が増えている。だがせっかくドライブレコーダーを取り付けたところで、決定的な“瞬間”を撮り逃すようでは意味がない。そんな残念な事態を招かないためのモデルとしてお勧めしたいのが、ケンウッドの2カメラドライブレコーダー「DRV-MR760」である。

経験を積んだドライバーであっても、瞬時の出来事に対応するのは難しいものである。音声コマンド機能がついた「DRV-MR760」では、ドライバーが“録画開始”、“写真撮影”と発話するだけで手動録画を開始してくれるので、緊急時においてもステアリングから手を放す必要がない。また突然クルマが前方に割り込んでくる、前方車両が蛇行運転を繰り返している、あるいは後方車両が急接近してくる……。こんな状況をも「DRV-MR760」は素早く検知し、ドライバーに警告、自動的に記録を開始してくれるのだから心強い。さらに映像を記録するSDカードは、定期的に初期化をしないと肝心の映像が記録されないエラーが起きることがあったが、この意外に面倒な初期化作業を独自記録システムの採用で不要にしたのである。ドライバーの安全・安心を確保するために進化し続けるドライブレコーダー。その先端技術の粋がこのモデルに集約されている。



フロントカメラの寸法は89.0mm×50.0mm×38.3mmとコンパクトだが、画面は見やすい。フロントとリアの映像を同時に写すことができる。



前方割込みなど異常な動きを検知するとドライブレコーダーがドライバーに警告、録画を開始し、書き換えがされない専用フォルダーに映像を自動保存してくれる。そのほか車線逸脱警告、発信遅れ警告など、様々な運転支援機能を搭載。



大切な映像を記録するSDカードは消耗品なので、長持ちするものを使いたい。ケンウッドの別売りマイクロSDHCメモリーカードは、一般的なSDカード（TLC方式）に比べて約100倍長持ち。画面表示や音声で交換時期を知らせてくれるので、エラーを未然に防ぐことができる。写真は32GBのKNA-SD32A（オープン価格）。



2021年2月発売の「DRV-MR760」。明るくて見やすいF1.8レンズを採用し、トンネル出入り口の白トビや黒つぶれなどを提言するHDRを搭載する。また駐車時に振動を検知するとドライブレコーダーが自動的に映像を記録する（別売りの車載電源ケーブルが必要）。オープン価格、想定実売価格は3万5000円前後。